



と 鋼 第三年 自第十一號 至第十二號 目次

夫治鐵山作業の今昔

西澤公雄

號數 一 頁數 一

鐵心用薄板に就て

長谷川熊彦

一 五一

鎔鑛爐研究の第一

城正俊

二 一八一

滿洲に於ける鐵業の概要

島岡亮太郎

二 一八五

我國製鋼業の將來とタルボット式製鋼法に就て

野上熊二

二 一九四
三 三四〇
四 四三五

瓦斯機關に就て

松本壽

三 三二一

第二回通常總會記事

桂辨三

四 四〇九

硅素鐵の製造に就て

H K 生

四 四一六

城正俊氏の曲線に就て

朝倉希一

一五 五六三

鑄鐵強さの規格に就て

俵國一

六五 六〇三
六六 六九〇

鋼の焼入作業に就て

井上克己

六 六七三

鋼中クロミウム定量法(特にタングステンの存在に於ける)に就て

俵國一

六 六八一

戰亂中世界に於ける製鐵業の大勢

今泉嘉一郎

七 七五三

鐵の話

杉本惣古

七 七八〇
九 九九〇

空氣中の濕氣と鎔鑛爐の作業

杉本惣古

九 九九〇

目次

小銃彈丸被甲用白銅の研究	小林清太郎	八	八五七
製鐵業に關する合同	野呂景義	九	九八三
本協會答申標準鋼材規格		一〇	一〇六五
鐵及鋼中硫黃の定量分析	井上克己	一〇	一〇七八
砲身材としてタンゲストン鋼		一一	一一六三
日本刀の有する化學成分	俵國一	一一	一一八六
日本刀の研究	長谷川熊彦	一二	一二六九

拔萃

軟鋼に於ける硫黃の影響	一	七九
鐵及鋼中に於ける酸素量	一	九六
最近廿五年間に於ける獨國鐵工業の發達	一	一〇九
千九百十五年に於ける瑞典鐵產額	一	一三五
ニッケル鋼の熔滓に就て	二	二〇九
鐵以外の金屬冶金に對する管	二	二一六
酸素アセチレン熔接法に於ける銻着に就て	二	二二九
内燃機關用鑄物の作り方圖解	二	二三八
冶金學上より見たるシリンダー鑄物	三	三六三
製鐵業調査會答申書	三	三八五
軸承合金の成分並に其性質	四	四八四
開戦後獨逸に於ける滿俺の供給	四	四四二
鑄鐵特に機關のシリンダーに就て	四	四五六
鐵以外の金屬冶金に對する電氣爐の應用	四	四七三
歐洲戦争と鐵及鋼	五	六一〇

鋼中に於ける硫化物と酸化物	五	六一八
世界に於ける電氣製鋼業	五	六二六
廢熱瓦斯を蒸氣發生に利用する法	六	六九八
硫黃と燐の鋼鐵に及ぼす影響に就て	六	七〇九
軟鋼の強度と内部組織との關係	七	八〇二
電氣鋼に就て	七	八一三
鋼の焼入焼戻に依る大きさの變化	七	八一八
大形鐵の製造に就て	八	八八六
瓦斯機關及蒸氣タービンの製造工場に於ける優秀	八	八九二
鐵道院鐵道用品仕様書	八	九〇二
電氣銻鑄法による鐵に就て	九	一〇〇六
鐵管鑄造用遠心機	九	一〇一三
ニッケルが鋼に及ぼす作用	九	一〇一五
二、三の健滓劑に關する實驗	九	一〇一八
軟鋼及銅線の彎曲抵抗に及ぼす温度の影響	九	一〇二六
鋼鑄物に用ふ可き砂粒の形狀と大き	一〇	一〇八五
地質學上より見たる鑄物砂	一〇	一〇八六
クロームを含む鋼の健滓に就て	一〇	一〇九五
鐵合金に就て	一〇	一一〇三
最近滿洲鐵產物概況	一〇	一一一七

雜 錄

電氣爐用電極に就て	一一九
ニッケル鋼に就て	一二一
戦争と米國の製鐵事業	一二六
製鐵所現況一斑	一二八
精鍊鑄解及合金作業中に於て滓及び金屬の過熱に就て	一三〇

工具合金ステライトに就て	一三六
大猪園鐵山調査概要	一三八
歐洲の大亂も鐵と石炭から	一三九
獨逸產鐵増加	一四三
米國製鐵界好況	一四三
我國防と製鐵	一四四
兵器製造獨立	一四六
琺瑯鐵器將來	一四七
製鋼業の現在と將來	一四八
ロイド船級協會年報抄録	一五〇
世界現在の海運	一五三
大正五年中進水船	一五四
東洋製鋼發起	一五五
日電製鐵現況	一五五
鞍山站製鐵確定	一五五
品川白煉瓦の發展	一五六
若松煉瓦擴張	一五六
露國經濟界に於ける英國の新勢力	一五六
本溪湖鑄鐵爐に就て	二五九
各國主要造船材料輸入稅率調	二七四
戰時に於ける獨國製鐵業の趨勢	二八二
南滿洲三十里堡南山鐵鑛產地概況	二八三
鞍子河鐵鑛概況	二八三
萍鄉上珠嶺鐵鑛近狀	二八四
獨英米戰後の製鐵事業	二八四

印度銑鐵輸出禁止	二八六
銑鐵禁出影響	二八六
列強工業動員	二八七
新著紹介、探鑛法	二九三
電氣製鐵創立	三八三
東洋製鐵進行	三八四
川崎の製鐵事業	三八四
伊藤製鋼研究所	三八四
大冶新製鐵所計畫	三八四
鞍山站製鐵規模	三八四
造船界の現勢	三八五
世界建造商船	三八五
印度の製鐵業	三八六
吉林の鐵鑛再掘	三八六
東洋製鐵委員會	三八六
南支那製鋼事業	五二六
戰後鐵業好望	五二六
琺瑯鐵器輸出檢査	五二八
世界護謨生產高	五二八
田中鐵山株式會社設立	五二九
各國造船所數	五二九
米國木造船急造公報	五二九
支那製鐵計畫	五二九
川崎製鐵計畫	五三〇
新著紹介、金相學	五三〇
銑鐵市價緩和策	五三〇
懇親會に於ける卓上演說筆記	五三一
伯國滿倫鐵鑛輸出高	六四〇
英領哥倫比亞州鐵鑛開掘計畫	六四〇
獨逸の鐵及鋼の產出額	六四一
南支那に於ける製鋼事業	六四二
露國ウラル地方に於ける鐵鋼生產高	六四二

西班牙菲律賓間の航路に付いて	五	六四三
英國製鋼業	五	六四三
戰時英國の製鋼業	五	六四六
朝鮮重石鑛合同	五	六四八
大戦争と歐洲各國の實狀	五	六四八
東京製鋼近況	五	六五〇
日東製鋼會社	五	六五〇
大冶製鐵事業	五	六五一
東京鋼材會社披露	五	六五一
東洋製鋼創立	五	六五二
在英瀧川製鐵所技師の通信	五	六五二
高温度と諸材料の強力との關係	六	七二〇
梨樹河子鋼鐵公可計劃	六	七二二
模範製鐵所計畫	六	七二二
濟華鐵鋼公司成立	六	七二二
漢冶萍公司近狀	六	七二三
葉家冲鐵鑛近狀	六	七二三
桃冲鐵山近況	六	七二四
米國の造船熱	六	七二五
米國の鐵材近況	六	七二六
造船用鐵材在高	六	七二六
硫化鐵鑛	六	七二七
鞍山站製鐵所	六	七二七
北海製鐵狀況	六	七二九
東洋製鋼事業開始	六	七二九
大阪製鋼鶴見工場	六	七二九
東海鋼業起業	六	七二九
帝國製鋼計畫	六	七三〇
久原製鋼所準備	六	七三〇
日支製鋼の設立	六	七三〇
日東製鋼擴張	六	七三〇
川崎造船所の板鐵製造	六	七三〇
大坂鐵板増資	六	七三〇
日本鋼管總會	六	七三一
日本鑄鋼配當	六	七三一
製鐵所製品賣出	六	七三一
支那鐵業時報	七	八二一
在英國製鐵所技師大石源治氏の來信	七	八二四
製鐵獎勵法案に對する各新聞の社説	七	八二九
米國輸出禁止影響	七	八三七
製鐵所損益高	七	八三七
電氣製鋼の製鐵企畫	七	八三八
小倉製鋼所現況	七	八三八
櫻井製鋼場事業開始	七	八三九
東京鋼材増資	七	八三九
日東製鋼總會	七	八三九
北米合衆國鋼鐵組合の貸金値増し	七	八四〇
鋼鐵と合衆國海軍	七	八四〇
伊國に於ける安質母の產出及輸入高	七	八四〇
獨逸に於ける鐵及鋼の價額	七	八四〇
鐵筋混凝土造船業	八	九五二
内地製鐵概況	八	九五二
獎勵法實施準備	八	九五三
製鐵業獎勵法	八	九五三
淺野造船所板鐵製造計畫	八	九五六
日本鋼管工場増設	八	九五六
東鐵設計概要	八	九五六
日本鋼鐵會社	八	九五七
富士製鋼發起人會	八	九五七
大坂鐵板善後講究	八	九五七
帝國鑄物創立總會	八	九五七
東京製鋼と製鐵	八	九五七
三菱の製鐵供給	八	九五八
川崎鐵自給策	八	九五八

日本銑鐵計畫	八	九五九
米鐵材輸出特許訓令	八	九五九
米國鐵禁輸善後策	八	九五九
米國鐵禁輸陳情	八	九六〇
米國の鐵材輸出禁止が齎す影響	八	九六〇
米國鐵材輸出の件	八	九六一
米鐵解禁期成同盟	八	九六一
對米鐵解禁協義	八	九六三
米鐵解禁實行委員會	八	九六三
解禁請願書提出	八	九六五
米鐵禁輸の結果	八	九六五
英國鐵鋼協會總會	九	一〇二七
本邦鐵鋼業の現勢	九	一〇二三
製鐵業獎勵法施行	九	一〇三四
製鐵輸入免稅品	九	一〇三五
米國鋼鐵代用品採用唱道	九	一〇三六
米國鐵禁出軍事用の解釋	九	一〇三六
米鐵輸出申請手續	九	一〇三七
鐵材問題と米紙	九	一〇三七
米國製鐵業者の希望	九	一〇三八
四學會の協議會	九	一〇三八
禁鐵問題に就て	九	一〇三八
驚く可き鐵類の暴騰	九	一〇三九
日米鋼板需給實狀	九	一〇四〇
製鐵擴張決定	九	一〇四一
製鐵所の鐵鑛採掘準備	九	一〇四二
製鐵擴張原礦	九	一〇四二
日本製鋼の増資	九	一〇四二
日東製鋼の擴張	九	一〇四三
日本製鐵創立	九	一〇四三
名電製鐵會社計畫	九	一〇四三
北海製鐵の増産	九	一〇四三
東洋製鐵株式申込總數	九	一〇四四
薄鐵板製造計畫	九	一〇四四
加奈陀鐵禁の範圍	九	一〇四四
米國ベスレーム會社の狀況	九	一〇四四
高速度刃鋼に及ぼすモリブデナムの影響	一一	一一三一
日本の鐵鑛には望がないか	一一	一一三一
米鐵絶望と造船	一一	一一三三
鐵葉板拂底	一一	一一三五
特許	一一	一一三五
米國鐵價公定	一一	一一三七
唐津製鋼設立	一一	一一三八
山陽製鐵開業	一一	一一三八
三菱新製鐵所	一一	一一三八
東洋製鐵の計畫	一一	一一三八
加奈陀鐵禁の範圍	一一	一一三八
日本製鐵株式會社	一一	一一三八
日本銑鐵株式會社	一一	一一三八
東京鋼材株式會社	一一	一一三八
支那鐵業時報	一一	一一三九
航空機用鋼に就て	一一	一一四三
特許	一一	一一四三
加奈陀輸出禁止品	一一	一一四四
米國輸出禁止品目表に就て	一一	一一四四
米國輸出禁止品特許申請に裏書を要する品目	一一	一一四四
米國鐵價協定裁可	一一	一一四五
米國鐵交渉打切願末	一一	一一四六
東洋製鐵創立總會	一一	一一四七
三菱製鐵設立	一一	一一四七
東京銑鐵創立	一一	一一四七
大島製鋼創立	一一	一一四九
仁川銑鐵製造所	一一	一一五〇
淺野製鐵所計畫	一一	一一五〇

目次

東海鋼業近況	一二五〇
米國鐵解禁同盟解散	一二五〇
七年度の鐵材需要	一二五〇
軸承用メタルと鑄鐵	一二五〇
長江沿岸の鐵山	一二五〇
製鐵自給問題	一二五〇
製鐵自給策決議	一二五〇
鐵の鑄を除去する新發明	一二五〇
新發明の電氣鉛筆	一二五〇
米國鐵力輸出規則	一二五〇
加奈陀鐵禁出	一二五〇
帝國製鐵創立	一二五〇
マスラ鐵工計畫	一二五〇
特許	一二五〇
鐵に關係ある會社の設立	一二五〇
一九一五年米國軌條毀損統計	一五七
米國に於けるヴァナデウム鐵の輸出	一五九
米國に於ける一九一六年九月中の鐵鋼及び機械類の輸出	一五九
八月中獨乙に於ける銅の產額	一六一
米國に於ける滿僊鐵の輸入	一六二
米國に於ける硫酸鐵の輸入	一六二
十月中米國に於ける銑鐵の產額	一六二
米國に於ける一九一六年十月中の鐵鋼及機械類の輸出入	一六二
印度產銑鐵の輸出	一六六
佛國に於ける銅及び鐵鑄の輸出入	一六七
米國に於ける滿僊鐵の輸入	一六七
一九一五年に於ける世界の銑鐵製產高	一六七
米國に於ける銑鐵の產額	一六七
伊太利に於ける鐵及鋼の輸入	一六九
獨乙に於ける銑鐵の產額	一六九

アルゼンチンに於ける鐵及鋼の輸入	一六七
輸出入貨物品別表	一六七
大正五年毎月本邦鐵山及炭坑產額表	一七四
米國に於ける銑鐵生產高	一七四
一九一六年十月中獨逸に於ける銅の生產高	二九四
米國に於ける一九一六年十一月中の鐵鋼及機械類の輸出入	二九四
英國に於ける十一月中の鐵及鋼の輸出入	二九六
米國に於ける十二月中の銑鐵	二九七
米國に於ける一九一六年中の鐵鑄	二九九
印度に於けるタングステンの產額	三〇〇
露西亞に於ける一九一六年の鐵鋼生產額	三〇〇
米國に於ける一九一六年中鋼の輸出豫想	三〇〇
米國に於ける銑鐵輸出の激増	三〇〇
英國に於ける滿僊鐵の輸入	三〇〇
加奈陀に於ける鐵と鋼	三〇一
露西亞に於ける鐵及び鋼の輸入	三〇一
最近十年間金屬類價格高低表	三〇六
英國に於ける砲彈及び銃砲の製作高	三八六
獨逸製銅の積出減少	三八七
米國に於ける滿僊鐵產額の新記録	三八八
米國に於ける十二月中の滿僊鐵輸入	三八八
米國に於ける軌條の輸出	三八八
英國に於ける鐵鋼及機械類の輸出入高	三八八
一九一七年一月中米國に於ける滿僊鐵の輸入高	五四四
獨逸に於ける昨年十一月中の銑鐵產額	五四四
一九一七年一月中米國に於ける鐵及鋼の輸出入	五四四
一九一七年二月中米國に於ける銑鐵の製造高	五四六
米國に於ける一九一六年中の銑鐵製產額	五四七
印度に於ける滿僊鐵の產出	五四八
英國に於ける滿僊鐵の輸入	五四八
ブラジルに於ける滿僊鐵の產額	五四八
米國產バナデウム及タングステンの需用	五四八

米國に於ける鐵及鋼の輸入出高(一九一六年).....	五五六
米國に於ける銑鐵製產高(一九一六年).....	五六八
佛國に於ける鐵及鋼の輸入.....	五六八
一九一六年中西班牙に於ける鐵鑛其他の積出.....	五六九
米國に於ける滿僱鑛の輸入.....	五六九
一九一六年中英國に於ける鐵及鋼の產額.....	五六九
佛國領より獨逸に積出せる鐵及鋼.....	六五九
一九一七年三月中米國に於ける銑鐵の產額.....	六六〇
露國に於ける鐵及鋼の產出額.....	七三二
米國に於ける鐵及鋼輸出.....	七三二
一九一六年中米國に於ける亞鉛輸出高.....	七三三
瑞西國に於ける鐵及鋼の輸出出高(一九一五年).....	七三三
米國に於ける鐵及鋼の輸出出高(本年二月).....	七三四
佛國に於ける鐵鑛鐵及鋼輸出出高(一九一六年).....	八四一
新西蘭に於ける鐵鋼輸入高(一九一六年).....	八四一
伊太利に於ける鐵鋼輸入高(一九一六年).....	八四一
和蘭に於ける鐵鋼輸出出高(一九一六年).....	八四一
奧地利國に於ける鐵材及鋼材輸出出高(一九一六年).....	八四二
伊太利に於ける銑鐵產出高(一九一六年).....	八四二
伊太利に於ける鐵及其他鐵石產出高.....	八四二
匈牙利に於ける鐵石產出及其の輸出入統計.....	九六七
英領加奈太に於ける鐵石產出高(一九一六年).....	九六七
一九一六年佛國に於ける鐵鋼輸出出高.....	九六八
製鐵所創立以來の鋼鐵生產高.....	一〇四五
北米合衆國の鋼產額.....	一〇四七
加奈陀に於ける鐵鋼產出額.....	一一四六
諸威國一九一六年に於ける輸出.....	一一四六
亞爾然丁共和國に於ける輸入(一九一六年).....	一一四六
英領印度に於ける一九一六年及一七年度の輸出出高.....	一一四六
英國に於ける鐵鋼統計.....	一一四七
西班牙國產出鐵石に就て(一九一六年).....	一二五一
伊太利ゼノアに港に於ける本年一月より六月に至る輸入高.....	一二五一

南亞弗利加に於ける鋼鐵の產出(一九一六年).....	一二五一
印度に於ける鋼鐵の產出(一九一六年).....	一二五一
瑞典國に於ける銑鐵の產出(一九一六年).....	一二五二
北米合衆國製鋼會社に於ける銑鐵製造高.....	一二五二
西班牙に於ける輸出(本年上半年).....	一二五二
露國鐵鋼產出高(一九一六年).....	一二五二
瑞典國に於ける鋼及鐵產出輸入.....	一二五三
北米合衆國に於ける鐵力鋸輸出に就て.....	一二五〇
瑞典國に於ける鐵鑛積出.....	一二五〇
ブラジル國に於ける滿僱鑛輸出(一九一七年).....	一二五〇
北米合衆國銅產出(一九一七年).....	一二五〇
北米合衆國に於ける新發見鋼磁石に就て.....	一二五〇
北米合衆國鐵鑛產出(一九一六年).....	一二五〇
印度產銑鐵に就て.....	一二五〇
ブラジル國に於ける鐵鑛石に就て.....	一二五〇
獨逸最近鐵鑛業に就て.....	一二五〇
加奈太オンタリオ州金屬產出(一九一七年上半年).....	一二五〇
全世界銅產出高(一九一六年).....	一二五〇
伊太利國金屬產出高(一九一六年).....	一二五〇
英國に於ける製鋼業.....	一二五〇
印度に於けるワイヤロープの輸入.....	一二五〇
伊太利に於ける機械類の輸入高.....	一二五〇
印度に於ける滿僱鑛の輸出.....	一二五〇
和蘭領東印度諸島に於ける錫の輸出.....	一二五〇
米國に於ける鐵及鋼の輸出.....	一二五〇
米國に於けるクロム鐵鑛の輸入(一九一六年).....	一二五〇
英領印度に於ける鐵產.....	一二五〇
南米ペルーに於ける鐵產(一九一五年).....	一二五〇
南米ボリビアの鐵產(一九一五年).....	一二五〇
米國に於けるビーハイブ骸炭の製造高(一九一六年).....	一二五〇

商況

米國金物商況		每	號
英國金物商況		每	號
內國金物商況		每	號
內地金物相場表		每	號
日本鐵鋼協會記事		每	號
鑛區一覽		一、二、三、六號	
內外雜誌主要題目		每	號
附錄、製鐵業に關する技術者及び職工養成使役の方法		二、	一